

# 第135期京都中央労働学校 募集要項

申し込みの手続きは「申込用紙」に必要事項を記入し、受講料をそえて申し込んでください。

募集の定員は、各コース60名です。(定員になり次第〆切ります)

講義時間は、午後7時～9時(休憩も含みます)

総合コースは、18回のうち12回以上出席し受講料を納入された方に修了証書をお渡しします。

それ以外のコースは、9回のうち6回出席で修了証書をお渡しします。

テキストは、経済学コース以外はレジュメを準備しております。経済学コースは、マルクス著『資本論』新日本新書 第1～2分冊を使います。注文の方は、申込用紙に記入を。

受講料は、総合コースは、10,000円、

それ以外は、8,400円です。

金額に消費税が含まれています。

各コースの会場は、『京都学習会館』(上京区堀川丸太町西一筋目上ル)です。

電話(075)841-8141

FAX(075)821-3665

二・四輪共に駐車場はありません。  
二条城市営駐車場へお願いします。  
地下鉄丸太町駅・二条城前駅から  
『京都学習会館』まで歩いて10分  
以内です。



キリトリ

第135期京都中央労働学校 申込用紙			
申込みコースチェック		総合	世界観
経済学	性別	年齢	
ふりがな	氏名:	男・女	才
現住所			
職場・学園			
労働組合 (全国単産)			
電話: 職場 ( ) - 自宅 ( ) -			

『資本論』の注文(必要な分冊に ) 第1分冊 第2分冊 第3分冊 第4分冊 を注文します。

# 科学的社会主義を学ぶ

## 労働者の学校 京都中央労働学校

第135期生 募集中!!!



申込先は.....  
京都労働者学習協議会  
〒602-8147  
京都市上京区堀川丸太町西一筋目上ル  
『京都学習会館』内  
電話(075)841-8141  
FAX(075)821-3665



京都中央労働学校は、科学的社会主義を学ぶ学校です。総合コースは、労働学校の本科です。私たちの住んでいる日本社会は“資本主義社会”ですが、その仕組みをまぜず学びます。その社会で生産・流通を支えているのが労働者であり私たちです。その素晴らしさをまなびます。日本国の主人公は国民だと憲法に定められています。しかし主人公がひどい貧困と格差の中にあります。なぜでしょう。沖縄の基地の問題でも県民の意志は県外・国外移転です。それが無いがしろにされようとしています。だれが、この日本を支配しているのでしょうか。それを明らかにし、打開の方向を学びます。そこに止まらず、世界的視野から世界と日本の未来について学びます。総合コースでは、“知のESSENCE”と題して5回にわたって私たちが“ものごと”を見たり考えたりするために必要な、それを学ぶことによって“知的な人生”を切り開く知の鍵ともいえる“知のESSENCE”を獲得します。などなど、私たちの身近な問題を素材にして科学的社会主義を学ぶのが京都中央労働学校の本科“総合コース”です。

科学的社会主義の  
総合コース

## ◎働くものの未来を学ぶ

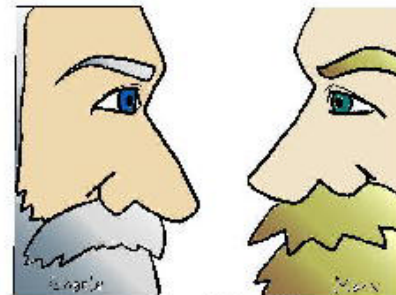
### 2/27(土) 開校オリエンテーション

- 3/02(火)-第01課 マルクスは何を発見し変革したか
- 3/05(金)-第02課 資本主義はどんな特徴をもっているのか
- 3/09(火)-第03課 “搾取” そのしくみと強める方法
- 3/12(金)-第04課 「訓練され、結合され、組織され」る労働者
- 3/16(火)-第05課 資本主義の“推進力”とその“矛盾”
- 3/19(金)-第06課 君の生きてきた時代
- 3/23(火)-第07課 \*知のESSENCE 人間とは
- 3/26(金)-第08課 大企業・財界はどのように日本を支配しているか
- 3/30(火)-第09課 \*知のESSENCE 真理とは
- 4/02(金)-第10課 日米安保条約は、日本に苦難をおしつける “諸悪の根源”
- 4/06(火)-第11課 \*知のESSENCE 科学とヒューマニズム
- 4/09(金)-第12課 日本の画期をなす “ものすごい闘い” の歴史
- 4/13(火)-第13課 \*知のESSENCE 個性は何によって輝くか
- 4/16(金)-第14課 労働組合の “出番” とはどういうことか
- 4/20(火)-第15課 \*知のESSENCE 弁証法について
- 4/23(金)-第16課 「資本主義の限界」 利潤第一主義は何をもたらしている
- 4/27(火)-第17課 世界で “変革” の実践がすすんでいる
- 4/30(金)-第18課 人類の未来社会 “社会主義・共産主義” とは

### 科学的社会主義の世界観コース 第3部 社会と歴史をどうとらえるか

講師は.....

鯉坂 真・関西大学名誉教授



### 2/27(土) 開校オリエンテーション

- 3/05(金) 第1課 君は “社会” をどうみるか
- 3/12(金) 第2課 人類社会の形成
- 3/19(金) 第3課 史的唯物論とはなにか
- 3/26(金) 第4課 歴史の法則性
- 4/02(金) 特別講義 「女性の解放」
- 4/09(金) 第5課 国家とイデオロギー
- 4/16(金) 第6課 資本主義の根本矛盾
- 4/23(金) 第7課 必然の国から自由の国への飛躍
- 4/30(金) 第8課 歴史の偽造はゆるされない

### 経済学コース... 『資本論』を読む!!

第1部 資本の世界はどんな社会か

講師は.....

上瀧 真生・流通科学大教授

### 2/27(土) 開校オリエンテーション

- 3/01(月) 第1課 なぜ、いま『資本論』を読むのか?
- 3/08(月) 第2課 なにが商品交換を成り立たせるのか!!
- 3/15(月) 第3課 商品の価値はどうやって表されるか!!
- 3/22(月) 第4課 商品の世界はどんな社会か!!
- 3/29(月) 第5課 貨幣はどうして生まれたか!!
- 4/05(月) 第6課 貨幣はどんな役割を果たすか!!
- 4/12(月) 第7課 資本とはなにか? 資本を生み出す鍵はなにか!!
- 4/19(月) 第8課 人間が労働するとはどういうことか!!
- 4/26(月) 第9課 資本のめけはどうやって生まれるか!!



働きながら学び、闘い、そして学ぶ.....その現代的意義をつかもう

そこで、歴史上で行動する人間の動機の背後に 意識されているかまたは意識されないで、実際には意識されない場合がきわめて多いが あり、しかも歴史の本来の最終的な推進力をなしている動力を探究することになると、個々の人びとの動機、たとえそれがどんなにすぐれた人間の行動にかんしてしようとも個々の人びとの動機ではなくて、問題になるのは、人間の大きな集団、民族全体、さらにそれぞれの民族のうちでの諸階級全体をうごかす動機であり、しかもこれも、瞬間的にかがやいて燃えあがるかと思うとたちまち消えてしまう藁火(わらび)のようなものではなくて、大きな歴史の変動をもたらす持続的な行動にみちびくような動機である。人びとを駆りたてる原因を探究すること、つまり歴史において、行動する大衆とその指導者 いわゆる偉人たちの頭脳のなかに、意識された動機として、明瞭にか不明瞭に、直接的にかイデオロギー的形態をとって、しかも天上にまつりあげられた形態をとってすら、反映されているところの、駆りたてる原因を探究すること これが、全体としての歴史でも、また個々の時代や個々の国の歴史でも、そこに支配している法則をあとづけることのできる唯一の道である。ところで、人間をうごかすものは、すべて人間の頭脳を通過しなければならない。しかし、それがこの頭脳のなかでどういう形をとるかは、それぞれの事情に依存している。労働者たちは、なお一八四八年にもライン河畔でやったようには、もはや機械を簡単に破壊するようなことはしなくなったからといって、けっして、資本主義の機械工業と妥協したのではない。(エンゲルス著「フォエルバッハ論」新日本出版社 p83-84)